

令和3年度第2回佐倉市景観審議会 議事録

日 時	令和3年12月24日（金）午後2時～午後4時
場 所	佐倉市役所 議会棟1階 全員協議会室（オンライン併用）
出席者	木下 剛会長、中島 伸副会長（オンライン参加）、内田 儀久委員、田邊 学委員（オンライン参加）、永村 景子委員、岩渕 明弘委員、林 洋太郎委員、森田 敬介委員、小笠 法之委員、小沢 修委員
事務局	都市部長 川島 千秋、都市計画課長 菅澤 雄一郎 青山 修副主幹、林田 洋子主査、橋本 和喜主査 知久 貴洋主事
議事	1. 「わたしが見つけた佐倉の景観」について <ul style="list-style-type: none"> ・わたしが見つけた佐倉の景観 募集結果について ・景観写真を使った周知・啓発方法について 2. 景観計画の運用状況の報告について 3. その他
配布資料	資料1 佐倉市景観審議会委員名簿 資料2 会議の運営について 資料3 わたしが見つけた佐倉の景観 募集結果について 資料4 「わたしが見つけた佐倉の景観」応募写真一覧 資料5 景観写真を使った周知・啓発方法の検討について 資料6 投票結果について
傍聴人	0人

【議事録】

発言者	内 容
	<p>1. 委員紹介</p> <p>2. 会長、副会長選出 景観条例施行規則第12条第1項の規定により、木下委員を会長に選出。同規則第12条第2項の規定により、中島委員を副会長に指名。</p> <p>3. 会議の運営について 資料2のとおり決定</p> <p>4. 佐倉の景観 周知・啓発について</p>
事務局	<p>【議題説明】 わたしが見つけた佐倉の景観 募集結果について 景観写真を使った周知・啓発方法について</p>
会長	<p>事務局からまとめてご説明いただきましたが、議事の順番につきましては、まず、資料3、資料4、資料5についてご意見をいただいた後、資料6に移り、景観カレンダーに使用する写真についてご意見をいただくという二つに分けるかたちで進行をしたいと思います。</p> <p>それでは、まず、資料3、資料4、資料5の わたしが見つけた佐倉の景観 募集結果や景観写真を使った周知・啓発方法についてご意見いただければ幸いです。いかがでしょうか。</p>
林委員	<p>資料3から順に質問させていただきます。</p> <p>まず、応募者数について前回よりも事務局の努力でかなり増えたことに関しては評価をしたいと思います。</p> <p>次に、景観写真を使った周知・啓発方法の検討についてですが、美術館での展示期間についてどれくらい考えているのかという点と、展示場所について佐倉地区に集中しているようですが、例えば志津や臼井などのほかの地区での展示は行えないのか考えをお聞きしたいです。</p> <p>それから資料6で事務局案として提案いただいているが、この中で155番竹の道、それから156番「白銀のひよどり坂」これは冬の風景なのですが二つ</p>

	ともひよどり坂になっているのでどちらか絞っても良いかと思えます。
会長	それでは事務局の方からご説明お願い致します。
事務局	<p>一点目の質問の美術館での展示につきましては、年度が明けてから4月頃で期間は2週間ほどを考えております。</p> <p>二点目の展示場所が佐倉に集中していてほかの地区での展示を行えないかというご意見につきましては今後調整をして検討したいと思います。</p> <p>三点目の資料6の事務局のカレンダー採用案にひよどり坂が二つあり一つに絞っていいのではないかという意見につきましては、今は資料5までの意見をいただくという進行になっていますので後ほど改めて説明・回答をさせていただきます。</p>
会長	前半の部分の回答につきましていかがでしょうか。
林委員	<p>それでは事務局は検討をお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	ほかにいかがでしょうか。
岩淵委員	私は今回初めて参加させていただくのですが、この写真募集については過去に何回か行われていたのですか。
事務局	この写真募集「わたしが見つけた佐倉の景観」については二回目になります。前回は令和元年度で今回二回目を行わせていただきました。
岩淵委員	前回は令和元年度ということは一年間が空いたということでしょうか。
事務局	今回は「わたしが見つけた佐倉の景観」という事業を行っていますが昨年度は「さくらの景観まちづくり賞」という事業を行ってまして、この二つを隔年で行わせていただいているため、令和二年度は「わたしが見つけた佐倉の景観」を行っておりません。
岩淵委員	わかりました。

事務局	<p>そうしたら、二年前に写真募集を行った時も作品展示やカレンダーなど同じようなことをされて、周りからの評判や要望・改善点などは活かして今回に繋げられているのかを伺いたいです。</p> <p>令和元年度に初めて「わたしが見つけた佐倉の景観」を行いまして、その時の課題としては、まず、写真の応募数が少ないというのがありました。</p> <p>今回それを改善するために、周知方法を増やしたのが改善方法のひとつです。</p> <p>また、周知の際応募期間中に満遍なく応募をいただくために宣伝を一気に行わず、応募期間内に時間差で様々なメディアを活用して応募を募りました。</p> <p>その結果、応募数を増やして行けたかと思います。</p> <p>そして応募数を増やすことによって、写真展としても見ごたえがあるものになっていくのかと考えました。</p> <p>もう一つ、今回は応募いただいた写真で景観カレンダーを作成させていただくのですが、令和元年度の時は景観カレンダーにするまで時間がかかってしまったということと、事前に応募をする段階でカレンダーにするということが決まっていなかったため、応募者に対するメリットを示すことができていなかったと感じています。</p> <p>しかし、今回につきましては、メリットを明確にできるような応募の方法を取らせていただきました。</p>
岩淵委員	<p>わかりました。</p> <p>ありがとうございます。</p>
小沢委員	<p>今回の応募者の年代の集計などはあるのでしょうか。</p> <p>周知方法を変えたことによって、応募者の世代に変化があったのであれば教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>今回年代については応募の際、記載はしていただきませんでした。</p> <p>内部的に収集する個人情報はできるだけ少なくするという方針があるので、応募の際、年代を記載していただく形式は取りませんでした。</p>
小沢委員	<p>周知方法で小中高等学校に配布しているとのことなので、応募の年代が下がっている可能性は考えられますよね。</p>
事務局	<p>今、小沢委員から年代別の集計や、周知の仕方によってどの程度効果があった</p>

	<p>のか検証した方がいいのではないかとということでご意見いただいたのかと思うのですが、先ほど申したとおり市では不要な個人情報収集しないという方針があるので年齢別の構成は把握しておりません。</p> <p>もう一つ、色々行ったことでどのような変化があったのかということなのですが、自己分析としては効果があったと考えております。</p> <p>しかし、それが若年層に広がったかどうかは把握できていません。</p> <p>いずれにしても、効果があったと実感しているので、今後もこういった周知方法で作品がより多く集まるようなかたちで行っていきたいと考えております。</p>
小笠委員	<p>冬の作品の応募が少ないのは少し寂しいので、様々な場所で展示をするときに次回も開催するので春夏秋冬の作品を募集するということを報告・周知することにより四季に偏りがでないのではないかと感じたので提案させていただきます。</p>
会長	<p>このことについて、事務局または、委員の皆様ご意見あればお願いいたします。</p>
事務局	<p>小笠委員と同じく年間を通じた募集を担当個人では考えていましたが今の運営の方法だとまだ難しいので小笠委員の意見を参考にしながら次回へ向けての課題として取り組んでいきたいと思っております。</p>
田邊委員	<p>今日、港区で同じ様に区民景観セレクションというものを選定してきたのですが、写真のクオリティが佐倉のほうがあまりに高く驚くくらい差があるなど感じています。</p> <p>応募される方の心理として、写真をせっかく応募したのであれば、カレンダーに選ばれるというのは喜ばしいことではありますが、それを検証することが大事だと思います。</p> <p>これはおそらく多くの方に応募していただくことが優先されているので、作品に優劣をつけないという方針が基本的にはあるのと思うのですが、今回四季ごとに三枚選んでいますので、春の景観賞といったように応募される方にとって少し励みになるような見せ方というのを考えて、展示などもメリハリをつけて、カレンダーに選ばれたものは少し大きめにするなどの方法をとると選ばれた方は嬉しくて今後もやってみようという動機づけになるのかと思いました。</p> <p>幅広くやることとどちらかがいいというのは一概には言えないと思うのですがそのようなやり方もあるのかなと感じた次第です。</p>
会長	<p>今のところ評価というのがカレンダーしかないのでは、何か応募していただいたことに対して別に励みになるような方法があればいいと思っております。</p>

事務局	<p>もう一点関連して思ったのが、「わたしが見つけた佐倉の景観」なので、今まで誰も撮ったことがない場所を見つけて写真を撮った方がいた場合評価してあげられるとよいと思いました。</p> <p>貴重な意見をいただきましたが、事務局としても悩ましい問題ですが、市の今のスタンスとしてはいい写真を評価するかたちではなくて、佐倉市の景観をどのように維持していくだとか、その前段として、市の景観に興味を持っていただく入口として行っています。</p> <p>作品の優劣となると、偏った場所の応募が集まってしまう可能性がありそれは避けたいと考えております。</p> <p>しかし、いい写真を応募してくれた方に評価をしてあげないと飽きられてしまう可能性もあるので、その辺り評価の方法などについては今後の課題ということでいずれ検討させていただきたいと思います。</p> <p>また、会長からお話いただいた、新しい景観を見つけた人に対してどうするのかという意見につきましては、ホームページにて掲載するときに新しく発見された佐倉の名所としてマッピングするなど、今のところどのようなかたちになるかわかりませんが事務局に一任していただきたく思います。</p>
中島委員	<p>前回のカレンダー採用写真を見た時に似たカットがあるなど感じました。</p> <p>似た写真が選考されると応募される方は傾向を把握して対策されるので、同じような写真が集まってしまうつまらなくなってしまうと思います。</p> <p>そのため、次回以降は事前選考の時から過去の採用写真と比較できるようにしていただきたいです。</p>
永村委員	<p>周知・啓発について、これだけ増えたことに驚いています。</p> <p>また、先ほど応募の少なかった季節の写真を増やしていくという意見がありましたが、作品展示については市の施策の中でやりやすいところを選んでいるかと思いますが、例えば季節ごとにパターンを変えて展示を行い常に景観を意識していただくのはいかがでしょうか。</p> <p>また、カレンダーの周知について、美術館などで展示することをこまめにSNSで周知を図っていただきたいです。</p> <p>せっかくのSNSなので常に景観を意識していただくと、市民の皆様にもより興味を持っていただけるのかと思います。</p>
森田委員	<p>応募が増えたということは、それだけ意識していただける方が増えたということなので良かったと思います。</p>

	<p>また、写真の質についてですが、応募している方は自分なりに良いと思って応募しているので、自分が満足して応募するのも重要かと思っています。</p> <p>なので、それなり応募数があれば無理して誘導していく必要はないのかと思います。</p> <p>冬が少ないという意見については、季節ごとにそれぞれやるのは難しいと思いますが、どうでしょうか。</p> <p>いずれにしても、応募数が多くてよかったのですが、次回以降飽きられないように考えていかなければならないのかと思います。</p>
会長	<p>たしか、オリジナルテーマについては内田委員のご意見が採用されたと思うのですが、ご意見あればお願いいたします。</p>
内田委員	<p>佐倉は水のある風景が多くあるので、これをテーマに設定することにより気付かなかった沼や、水が出てくるかと思ったので実際に応募があって良かったと思っています。</p> <p>また、写真をこだわって撮っている人がいて、市の景観の中では漏れ落ちてしまうけれど、資料4の111番の写真はかなり時間をかけなければ撮れないと思います。</p> <p>成田エクスプレスを待って撮っていてそこまで狙っているように見えます。</p> <p>この景観は実際にモノサクと呼ばれていて、物井と佐倉の間のエリアで非常に良い景観と言われているのでいいものを撮っているのかと思います。</p> <p>もう一つ狙って撮っているなど思うのは、145番の「印旛沼の夕景」です。なぜかというと、富士山が入っていて冬の風景だからです。</p> <p>これは、春とか夏だと霞んでしまうため見えない、冬だけがしっかりと富士山が見えます。</p> <p>このように狙って撮ってくれる人が出てきて良かったという印象です。</p>
会長	<p>ひと通りご意見が出ましたので資料3、4、5については今いただいた意見を踏まえてまた次回に向けて検討を進めていければと思います。</p> <p>それでは、カレンダーに採用する写真を決めなければなりませんのでカレンダーにつきまして、ご意見あればお願いいたします。</p> <p>なにか事務局のほうで補足等ありますか。</p>
事務局	<p>資料の事務局案の中で3月の「どんどれえ」の写真があるのですが、こちらで調べたところ、1月に催しがあるようで応募でいただいていた「春」とは異なっ</p>

	<p>ています。</p> <p>カレンダーにする際、行事と掲載月が異なるのは違和感があるのかと思いますので、「春」で応募いただいたのですがもし採用されるなら1月にして、案の1月の写真を2月、2月の写真を3月にずらしても違和感は無いかと思うので、このようなかたちでやるのはどうでしょうか。</p>
森田委員	<p>まず質問なのですが、資料6のカレンダー案について、2023年の1月から始まっているのですが、どんなふうになっているかというのが分かりにくいです。</p> <p>それと、2021年1月のカレンダー案が最後にあるのですが、この盆踊りの写真は選ばれてないものが案になっていて、順番もよく分からない、本当にこれでいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>まず、カレンダーの順番が2022年1月から始まっているということについてですが、公表については2022年4月から2023年3月のカレンダーを公表する予定でございます。</p> <p>資料6の順番については、この場で説明するときに1から始まっていた方が分かりやすいかと思い、敢えてこの順番といたしました。</p> <p>分かりづらくなってしまい、申し訳ございません。</p> <p>資料6の最後についているものにつきましては、卓上カレンダーのイメージとして載せさせていただきました。</p> <p>1月の写真が盆踊りになっているのも、あくまでイメージで、こういったかたちでダウンロードしていただきたいという意図で載せさせていただきました。</p>
森田委員	<p>了解いたしました。</p> <p>自分の意見の方に続かせていただきます。</p> <p>先ほど、ひよどり坂が二つあるという意見があったのですが、私もそう思います。</p> <p>また、今回は風車の写真が選ばれていなくて、確かに風車が選ばれていない年も無いとおかしいかもしれませんが、佐倉のカレンダーを公表したときに、全員が思い浮かぶ佐倉の風景というのがあるのではないかと思います。</p> <p>各月の大きいページには載せる必要は無いかと思いますが、表紙に上手く縦の写真載せてくれていたので、縦に限らず、縦横上手くレイアウトして「わたしが見つけた佐倉の景観カレンダー」という題名のところに載せるのは佐倉をイメージさせるような写真を、例えば投票で2票入っているのに選ばれていない写真というのがたくさんあると思うので、その中から選んでいただくなどしていた</p>

	<p>だいてもいいのかと思います。</p> <p>佐倉といたらお祭り、風車などがあるというのは誰もが分かると思います。</p> <p>そういったものの中から、センス良く散りばめていただいて表紙ができれば佐倉のカレンダーなんだというのが分かるのかと思います。</p>
事務局	<p>確認になるのですが、今回投票のあった写真をモザイク画的に複数表紙に配置した構成はどうかというご提案ということでもよろしいでしょうか。</p>
森田委員	<p>そうですね、モザイク的にしたいという趣旨ではなくて、あくまでもセンス良くということなのですが、「佐倉の景観」という言葉が書いてあり、それがわかるような風景があるのではないかという意味合いです。</p>
事務局	<p>今いただいた意見を基に、投票いただいた作品全部載せるのは難しいので、例えば複数票入っていて採用されていない佐倉を代表するような作品につきましては、できるだけ努力してセンス良く作成してみようと思います。</p>
森田委員	<p>確認なのですが、複数票入っているのに採用されていないではないかということをおし上げているわけではなくて、「佐倉の景観」のイメージのものが複数票入っているものの中にあればいいのかという意味合いで言っています。</p> <p>なので、複数載せてほしいというわけではないというように捉えていただきたいです。</p>
岩淵委員	<p>カレンダー自体は販売、配布をしたりはしないわけですね。</p> <p>ダウンロードで個人がプリントアウトするのであれば、これが欲しいという人が自由に選んでマイカレンダーを作れるようにしてあげたらどうでしょうか。</p> <p>ただ、これは枚数が多いので少し絞って各月の写真はダウンロードする人が自由に組めるような写真のライブラリーを提供してあげるのがいいかなと思います。</p> <p>とはいえ、表彰してあげたいというのもあるでしょうから、市としての基本形を作るなどはして、でも実際は自由に選べるように提供するのが良いと思いました。</p>
会長	<p>自由に選べるようにするのは、私も面白いと思います。</p>
事務局	<p>まず、カレンダーの作成、販売というのが冒頭にあったのですが、申し訳ないところではありますが、予算・財源的な都合もありましてなかなか難しいところ</p>

<p>田邊委員</p>	<p>で、苦肉の策でダウンロードというかたちでまずは、出来るところからということで行っております。</p> <p>これが将来的に佐倉といえば景観写真展だというふうになった暁には、販売というかたちに繋がる可能性はあるのですが現時点では、出来ることとしてダウンロードで対応させていただいております。</p> <p>また、写真を自由に選べるようにするという事なのですが、現状佐倉市のWEBシステム的が、ユニバーサルデザインといえますか、比較的すべての人がアクセスしやすいようになっているので、ご提案いただいたように、色々な写真を組み入れてというようなプログラマチックなかたちの対応ができません。</p> <p>ただ、選べた方がいいという意見もあるので白い背景のカレンダーを作ってご自分で加工していただくかたちで出来るのかどうかは検討していきたい。</p> <p>写真を選んでプリントアウトできるようにするのは難しいということはご理解いただきたいです。</p> <p>私の会社で企業のカレンダーのグラフィックデザインをやらせていただいているのですが、事務局のカレンダー案を拝見すると、それぞれメリハリというかドミナントカラーと表現しますけれども、主たる色に変化があってカレンダーとしてはとても魅力的だと感じます。</p> <p>先ほど「どんどれえ」というどんど焼きの話がありましたが、行事とカレンダーの月が揃っていないというのはおかしいと思うのでここは入れ替えたほうが良いと思います。</p> <p>また、最近温暖化の影響があって秋が短くて、9月の風景でこれほど紅葉していないと思うのですが、ただ、カレンダーなので季節を先行していてもいいのかもしれませんが、それであるならば、10月と11月は逆かと思えます。葉が落ちる前と後なので、少し月の入れ替えがあってもいいのかと思いました。</p> <p>続いて、カレンダーのデザインの話なのですが、企業カレンダー等で喜ばれるカレンダーというのは、どういうものなのかというと、会社の名前が小さく入っていて、ただでもらったように見えないもの、それと写真などの絵柄が大きくてそれ以外の要素がしっかりと脇役としてデザインされているということが重要です。</p> <p>今回のデザインに関して言うと、曜日などに使われている書体がとても個性が強く主張が強いです。</p> <p>見ようによっては、写真を少し邪魔しているように感じるのですがけれども、引き立て役に回る方は、主張を抑えたようなデザインで書体を選んだほうが良いと感じます。</p> <p>また、卓上カレンダーの方の佐倉市のマークがあまりにも大きくて、こういう</p>
-------------	--

	<p>かたちでは掲出しないほうがいいのかと思います。</p> <p>デザインですから、他の要素と少し縦横のバランスを揃えて、例えば佐倉市のマークまたは、名前を土曜日の幅の中に納まるようにレイアウトするなどして少しメリハリをつけて写真が主役になるようにするとデザインのグッとクオリティが上がるのかと思いました。</p>
会長	<p>具体的な提案ありがとうございます。</p> <p>またその辺は、田邊委員や森田委員にご意見いただいて最終的なデザインを詰めていただければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
永村委員	<p>写真の入れ替え等については、田邊委員のご意見に賛成です。</p> <p>また、提案なのですが、先ほど縦の写真が使いにくいという意見がありました。今は印刷する事を前提としているかと思いますが、今回 SNS で効果があったということで、例えば JPEG でデータを配布することでスマートフォンの画面で使えるかたちで提供ができるのかと思いますのでそのような活用も検討していただければと思います。</p>
会長	<p>カレンダーというのはよく最初のページに全ての月の絵が一覧になっているようなものがあつたりするのですが、場所がわかつたりするマップがあつたらいいなと思ったのですがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>市としても景観ということで行っているのですが、市のマップに撮影地点などをわかるように最終ページなどに入れるのは検討したいと思います。</p> <p>月の入れ替えにつきまして、他にご意見あればお願いいたします。</p>
林委員	<p>事務局案は投票を基に選出されたと思うのですが、資料6に「地区のバランスを配慮していただきたいです。」というコメントがあります。</p> <p>これを見た時に事務局案を見ると和田・弥富地区が一件も入っていないような感じがします。</p> <p>それと、臼井、佐倉が圧倒的に数が多くなっています。</p> <p>また、臼井について、印旛沼がカレンダー案として多く採用されていて、先ほど森田委員の意見でもありましたが、今回は風車が選ばれていません。</p> <p>私は観光協会から来ているので、今回観光という視点の中で選ばせていただきました。</p> <p>残念ながら、私が選んだ中からは1枚程度しか選ばれませんでした。</p>

	<p>それぞれ感覚は違うと思うので仕方ないことですが、バランス良く選んだらいいのかと思いました。</p> <p>そして、投票いただいた写真は、違うかたちで公表して、より広く公表することで次に繋がるかと思いました。</p> <p>入れ替えについては、余地があれば検討していただければと思います。</p>
会長	<p>和田・弥富地区に関しては176番「秋の調べ」という作品が入っておりますが、他の地区に比べると少ないということでこの辺のバランスを少し考慮できればと思うのですが、ご意見ありますでしょうか。</p> <p>171番「赤い絨毯」、176番「勝間田の池」については、それぞれ一票いただいておりますが案の中には入っておりません。</p>
事務局	<p>先ほど6番「青菅のどんどれえ」が冬だったというお話をさせていただきましたが、この関係で春の作品が少なくなっています。</p> <p>そして、印旛沼が多いという意見がありましたので、冬に6番「青菅のどんどれえ」を持ってきて春に171番「赤い絨毯」を地区のバランスを考えまして入れたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
内田委員	<p>2月の146番「サンセットヒルズの夕景」が資料を見ると夏の季節と書いてあるのですがどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今内田委員からいただいたご指摘なのですが、資料4の98ページの146番「サンセットヒルズの夕景」が現在「夏」になっているのですが、これは誤りでこの作品については、「冬」の写真として応募いただいております。</p> <p>記載を誤ってしまい申し訳ございませんでした。</p>
内田委員	<p>了解いたしました。</p>
会長	<p>事務局から、6番「青菅のどんどれえ」に変えて171番「赤い絨毯」を春にするという提案がありましたがいかがでしょうか。</p>
森田委員	<p>「青菅のどんどれえ」については、4票入っているというのと迫力ある作品なのであった方が良く感じました。</p>
会長	<p>先ほど月が間違っているという話がありましたが、これは「赤い絨毯」と入れ</p>

	<p>替えるということでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほど説明しましたのは、「青菅のどんどれえ」は実際には1月に行われているということなのでこれを1月に持っていき、それぞれを繰り下げて2、3月に持っていかうかとお話をさせていただきました。</p> <p>その後地区のバランスというお話があったので、追加の提案ということで和田・弥富地区の「赤い絨毯」を3月に持っていくのはどうかと提案いたしました。</p> <p>しかし、1枚冬の作品を外さなければならないのでそのあたりご意見いただければと思っております。</p>
会長	<p>わかりました。いかがでしょうか。</p>
田邊委員	<p>3月に「赤い絨毯」を採用するということですが、ツツジは4月とか5月の花で、さらに温暖化の影響もあるので入れる場所を考えた方がいいと思います。</p>
事務局	<p>「赤い絨毯」を採用するようであれば今のご意見を参考に3月4月入れ替えを事務局で対応したいと思います。</p>
会長	<p>印旛沼が複数採用されていますので、外すとしたら印旛沼かと思ったのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今の会長の意見を踏まえまして、事務局の提案としましては、今の冬でいただいております146番「サンセットヒルズの夕景」を外して入れ替えようと思います。</p>
会長	<p>171番「赤い絨毯」を入れるということでもよろしいでしょうか。</p> <p>そうすれば和田・弥富地区が2枚になるのでバランスも良いと思います。</p> <p>他にご意見ありますでしょうか。</p> <p>他に無いようでしたら事務局の提案で進めていくということでもよろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、最終的に修正したものを確認させていただければと思います。</p> <p>事務局からなにかありますでしょうか。</p>

事務局	<p>事務局案で建物があるのですが、まだ所有者にカレンダーとして使用していいかと許可をいただけていないので、許可をとれなかった場合事務局で改めて提案させていただきますがよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>許可がいただけなかった場合はメールで改めて提案ということでよろしいでしょうか。</p> <p>特に意見は無いようなのでそのように進めて参ります。</p> <p>他に無いようなので、続きまして次第5 景観計画の運用状況報告について事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>【議題説明】 景観計画の運用状況の報告について</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>アドバイザーの先生方なにか補足はありますでしょうか。</p>
中島委員	<p>最後の案件につきまして、新町・裏新町地区を景観形成重点区域として位置付けているため協議がかかっているのですが、歴史的市街地であると全国同様の課題を抱えている訳なのですが、間口の狭い敷地の中で住宅の建替えを計画するとどうしても駐車場のスペースの取り合いとなって、外構計画を行って景観の街並みをつくっていくのが難しいケースがよく見られます。</p> <p>その中で、今回もできることをということで、こちらがお願いして対応していただいているところなのですが、やはり、駐車場は今の暮らしの中で必要なものだと思うのですが、駐車場の配置自体を街の中でどのように考えるのかという発想と合わせて解いていかないとなかなか景観側だけで街並み、景観を整えていくというのは限界があるかと思っています。</p> <p>そういう意味で景観計画を策定してそれなりに年数も経っていて、実績も溜まっているので、個別敷地の建替え問題で指導をどうしていくかというのを超えたような、今後新町地区をまちづくりとしての沿道環境の在り方や、自家用車と街並みのような問題を地元の方と議論していくことも考えていただけたらと思います。</p>

会長	是非、ご検討いただけたらと思います。
森田委員	抽象的な話ではなくて、どのような計画があつて、どのような助言をしたのか、その結果このようになりそうだとするようなことでないと、聞いていても全く意味が無いので教えていただけたらと思います。
事務局	本件につきましては、個人宅ということでプライバシーの関係がありまして、また、この報告事項につきましては、こういったことをご協力いただいているという部分と景観法の届出の報告ということで詳細については申し訳ないのですが今回の件につきましてはご紹介出来かねますのでご理解いただければと思います。
森田委員	景観審議会委員というのは、それがわからない委員なのでしょうか。 私はそのような認識では無かったのですが、それが個人情報になってこの委員の皆様がわからなくて、このような報告を聞いてもあまり意味が無いと思えますし、この委員の皆様相手に個人情報を出せないというのは、どんな会議なのかと思ってしまう。
事務局	この景観計画の運用状況の報告については議事ではなくてあくまでも報告というかたちでご理解いただければと思います。 森田委員のおっしゃることはご理解できますが、今回は傍聴がいないのですが、この会議は公開で行っていますので、個人情報の公開は控えさせていただいております。
会長	傍聴がいる場合は、ここは外していただくというのも可能かとは思いますが。 私は他の自治体でアドバイザーをやっていたのですが、民間の方の案件も審議会で議論していたような気がします。 審議会委員は守秘義務を持っていると思いますし、公開するということはないと思いますので、傍聴についても外していただくことも可能かと思えます。 駄目ということはないと思うので、今後ご検討いただけたらと思います。 他にご意見いかがでしょうか。 では、最後に次第6 その他 について事務局からなにかありますでしょうか。

事務局	<p>カレンダーについてですが、差し替え、レイアウト等ご助言いただいたので、改めて作り直したものをメール等でご相談させていただきながら作業を進めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、他の委員の皆様ご意見、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>特にご意見が無いようですので、本日の会議は以上になります。</p> <p>委員の皆様におかれましてはお忙しいところご出席いただき誠にありがとうございました。</p> <p>事務局におかれましては、より良い景観形成に向けた取り組みについて、本日いただきました意見を踏まえまして引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度第2回佐倉市景観審議会を閉会いたします。</p>
-----	--